

## 2004年のネット判例回顧

南山法科大学院教授  
町村泰貴

### 判例一覧

#### <刑事事件>

(ネット名誉毀損)

##### 【1】大阪高判平成16年4月22日

交通加害者による名誉毀損刑事事件控訴審

交通事故の加害者が被害者の遺族を掲示板で名指しし「人間のくず」などと書き込んだことが名誉毀損に当たるとして実刑判決が下された事例。

##### 【2】東京地判平成16年11月17日

武富士元会長盗聴・名誉毀損刑事事件

被害者が記者会見で「武井会長が盗聴を指示した」と述べたのに対し、「会見は茶番劇で犯罪行為」などとする文章を武富士のウェブサイトに掲載し、名誉毀損したのに対し、執行猶予つき懲役刑を言い渡した。

(ネット関係架空請求)

##### 【3】広島地判平成16年10月28日

オレオレ詐欺ネット架空請求刑事事件

オレオレ(なりすまし)詐欺目的で金融機関に口座を開設したほか、インターネットの有料サイトの登録使用料を架空請求した24歳の男に対し、懲役3年、執行猶予4年を言い渡した。

(ネット媒介犯罪)

##### 【4】東京地判平成16年2月17日

ネット利用保険金詐欺未遂刑事事件

ネット掲示板で知り合った少年に自分を殺害させて保険金を詐取しようとした詐欺未遂事件。

##### 【5】天津地判平成16年10月26日

ネット知人妻殺害依頼刑事事件

携帯電話のサイトで知り合った男に自分の妻の殺害を依頼して保険金をだまし取ろうとした事案で、裁判所は「顔も知らない者同士がインターネットなどで連絡を取り

合って殺害を計画し、実行しようとしたという犯行の特質が社会に与えた影響は大きい」として、懲役7年6カ月(求刑懲役8年)を言い渡した。

(ネット利用脅迫)

【6】福岡地判平成16年10月22日

警官脅迫メール刑事事件

元警視庁巡査がストレス解消を目的にして、テレビ西日本へ爆破予告の電子メールを送信したという事例で、懲役1年6月、執行猶予3年が言い渡された。

【7】大阪地判平成16年10月26日

2ちゃんねる小学校脅迫刑事事件

「2ちゃんねる」に小学校を脅迫する書き込みをして、大阪府内公立小学校の63%で集団下校という事態を招いた事件で、懲役2年、執行猶予5年。裁判官は「おびえて体を震わせながら下校した小学生もいた。執行猶予が当然だと思うな。前科がないから付けただけで、刑務所に行ってもらっても何らおかしくない」とのべたという。

(オークション詐欺)

【8】鳥取地判平成16年8月3日

元小学校職員ネットオークション詐欺刑事事件

インターネットオークションにパソコンを出品するなどその掲示をし、北海道から九州までの約40人に代金を振り込ませ、計約500万円をだまし取った。懲役2年6月の実刑判決。

【9】水戸地判平成16年9月2日

著作権侵害・オークション詐欺刑事事件

インターネットオークションでパソコンやデジタルカメラを販売するように装って、友部町内に住む男性ら11人から計約175万円をだまし取った。懲役3年、罰金150万円、執行猶予5年の言い渡し。

【10】大阪地判平成16年10月1日

偽森伊蔵オークション詐欺刑事事件1

【11】大阪地判平成16年10月8日

偽森伊蔵オークション刑事事件2

「幻の焼酎」とされる芋焼酎の偽物をネットオークションで販売し、詐欺や商標法違反など懲役2年6月の実刑判決。共犯者は懲役2年8月、執行猶予4年。

(個人情報関連刑事事件)

【12】東京地判平成16年10月5日

### ヤフーBB恐喝未遂刑事事件

ヤフーBBの顧客情報が流出し、恐喝された事件で、主犯に懲役4年の実刑判決。

### (著作権侵害刑事事件)

#### 【13】 京都地判平成16年3月5日

##### Winny 利用ゲームソフト著作権侵害刑事事件

Winny を使い、ゲームボーイアドバンス用のソフトなど26本のデータをネット上に公開し、不特定多数がダウンロードできる状態にした少年に対する懲役1年、執行猶予3年の有罪判決。

#### 【14】 松山地判平成16年3月26日

##### テレビ番組無断ネット配信刑事事件

パソコンで勝手に複製した人気テレビ番組をインターネット上で配信できる状態にしたとして、著作権法違反の罪に問われた被告人2名に対し、いずれも懲役1年6月、執行猶予4年

#### 【15】 徳島地判平成16年9月3日

##### Atok 無断公衆送信刑事事件

ジャストシステムのソフトを公衆送信可能な状態にしたということで、懲役1年6カ月、執行猶予3年が言い渡された。

### (ネット関連児童ポルノ・買春事件)

#### 【16】 福岡地判平成16年3月9日

##### 出会い系サイト悪用・児童買春刑事事件

買春の費用にあてようと、裸体や性的行為の様子まで撮影。自らインターネットに援助交際のための電子掲示板も立ち上げ、小中学生を誘うなど、常習性が顕著な小児科医に実刑判決が下された事例

#### 【17】 横浜地判平成16年8月16日

##### 映画監督買春・強姦刑事事件

インターネットで知り合った女子中学生にみだらな行為をしたとして、映画監督が強姦と児童買春・児童ポルノ禁止法違反(児童買春)の罪に問われた訴訟で、懲役2年4月の実刑判決。

### (その他)

#### 【18】 那覇地判平成16年7月8日

##### 米軍少佐強制わいせつ未遂刑事事件

沖縄県具志川市で2004年11月、フィリピン国籍の女性に性的暴行をしようとした

などとして、婦女暴行未遂と器物損壊の罪に問われた在沖繩米海兵隊少佐に対する有罪判決。被告側は無罪を主張する一方で、ホームページで制度の問題を指摘して、ホワイトハウスや国会議員に救済を訴えるように呼び掛けた。

#### <民事事件>

(名誉毀損・信用毀損民事事件)

**【19】 東京地判平成 16 年 2 月 19 日**

**キャバクラ弁護士名誉毀損事件**

キャバクラでの言動を誇張して噂の真相誌と WEB 版噂の真相に書かれた弁護士が、損害賠償を請求して認容された事例。

**【20】 東京地判平成 16 年 5 月 31 日**

**アートネチャー批判事件**

「増毛法は原始的で乱暴」「商品説明はうそ八百」などとアートネチャーの名誉を傷つけた会社員に損害賠償を認容した事例。

(著作権・プライバシー等侵害民事事件)

**【21】 大阪地判平成 16 年 2 月 12 日**

**誕生花著作権侵害事件**

写真家である原告が、「誕生花」としての花の選択並びにこれについて原告が撮影した花の写真及び花言葉の組合せ全体について著作権を有すると主張して、それをパンフレットに掲載した者とウェブページに掲載した者と共に損害賠償を請求した事例で、ウェブページへの無断掲載は掲載者が経済的利益を得ていないとして 100 万円の賠償が命じられた。

**【22】 東京地判平成 16 年 3 月 24 日判時 1857 号 108 頁**

**ライントピックス新聞見出し著作権侵害事件（著作権侵害否定例）**

新聞見出しの著作物性を否定し、新聞社のホームページ上に掲出される新聞記事見出し及びこれと類似する記事見出しを複製等していることが、著作権侵害に該当しないとして、賠償請求を棄却した事例

**【23】 名古屋高判平成 16 年 3 月 25 日**

**歯科医処分HP掲載国賠事件控訴審**

保険医登録取り消し処分の期間が経過した後も厚生省(現厚生労働省)が処分事実をウェブに掲載し続けたため、信用を傷付けられたとして国家賠償が認められた事例。  
原審：名古屋地判平成 15 年 9 月 12 日平成 14 年(ワ)第 879 号

**【24】 東京地判平成 16 年 6 月 11 日**

#### **デンバー総領事写真無断放送事件**

ウェブページ上にある元デンバー総領事の写真を日本テレビが無断で複製して放送したとして、賠償責任が認められた事例。

テレビのデータを無断でネットに利用したのではなく、ネットのデータをマスコミが勝手に使ったケース

#### **【25】 東京地決平成 16 年 10 月 7 日**

##### **録画ネット仮処分事件**

テレビ放送を録画して海外在住者がネット経由で視聴できるようにしたサービスが著作権侵害として仮処分による差止めが認められた事例

#### **(商標権侵害事件)**

#### **【26】 大阪地判平成 16 年 4 月 20 日**

##### **Career-Japan 商標権侵害事件**

原告の商標と類似のドメイン名を取得し、ウェブページにも「Careerjapan.jp は日本で働きたい外国人を応援します」との文言を掲載していたことから、商標権侵害が認められた事例

#### **【27】 東京地判平成 16 年 5 月 24 日**

##### **セコムステッカー・ヤフオク事件**

セコムのステッカー偽物を作成し、オークションで販売した行為が商標権侵害とされた事例

#### **【28】 東京地判平成 16 年 5 月 28 日**

##### **キタムラ対北村商標侵害事件（否定例）**

インターネットのホームページに表示した標章について、一部は原告の商標に類似せず、一部の類似する標章も両者の不使用合意後は使用されていないとして、損害賠償が認められなかった事例

#### **(プロバイダ削除責任)**

#### **【29】 東京地判平成 16 年 3 月 11 日**

##### **「罪に濡れたふたり」著作権侵害事件（2ちゃんねる賠償棄却例）**

2ちゃんねる管理人に対して著作権侵害物の削除を要求したが、削除人に申請してほしいとの返事で削除に応じなかった場合に、発信者でない掲示板管理人にはもともと削除義務がなく、電子メールによる削除要求が著作権者との関係が不明で侵害の特定も十分でない以上は条理上の削除義務違反もないとし、差止としての削除請求と削除義務違反に基づく損害賠償請求のいずれをも棄却した事例。

##### **プロバイダの削除義務を狭く解した例**

**【30】 東京地判平成 16 年 3 月 26 日**

**会社員対 2ちゃんねる・削除及び損害賠償請求事件**

2ちゃんねるの管理者に対し、2ちゃんねる上の「純然たる私人の名誉を傷つけ、氏名や電話番号などを記した書き込みが閲覧可能なままになることはプライバシー権の侵害だ」と判じし、書き込みの削除と50万円の慰謝料支払いを命じた。

**【31】 東京地判平成 16 年 5 月 18 日**

**予備校対 MILKCAFE 削除・損害賠償請求事件（損害否定、削除肯定例）**

インターネット掲示板 MILKCAFE の書き込みで信用を傷つけられた予備校が、掲示板の運営者に書き込みの削除などを求めた事件で、削除を命じたが、損害賠償請求については「学院の指摘を受けた大部分の書き込みを既に削除している」として棄却した。

**【32】 東京地判平成 16 年 6 月 16 日**

**ダイビングショップ対 2ちゃんねる損害賠償請求事件**

原告会社が運営するダイビングショップや社長個人について「悪徳ショップ」などと批判する書き込みが2ちゃんねる上で相次いだケースにおいて、2ちゃんねる管理者は速やかに削除する義務を怠ったとして賠償請求を認めた事例。

**【33】 東京地判平成 16 年 7 月 9 日**

**エイジアン対 2ちゃんねる削除請求事件**

「腐った会社」などと会社を中傷した書き込みで、削除請求。被告欠席のため認容された。

(発信者情報開示)

**【34】 東京地判平成 16 年 1 月 14 日判タ 1152 号 134 頁**

**ソネット WinMX 発信者情報開示事件第 1 審**

P2Pソフトの利用によりTBCの顧客情報を流通させている場合において、アクセスプロバイダ（経由プロバイダ）に対して発信者情報開示請求を認容した事例。

**【35】 東京高判平成 16 年 1 月 29 日**

**羽田タートル代理人対 2ちゃんねる・発信者情報開示請求事件控訴審**

アクセスプロバイダ（経由プロバイダ）に対して発信者情報開示請求を認容した第1審判決を支持し、控訴棄却

原判決：東京地判平成 15 年 9 月 17 日判タ 1152 号 276 頁

**【36】 東京地判平成 16 年 3 月 12 日**

**WinMX プライバシー侵害・発信者情報開示請求事件**

P2Pソフトの利用によりTBCの顧客情報を流通させている場合において、アクセスプロバイダ（経由プロバイダ）に対して発信者情報開示請求を認容した事例。

**【37】 東京地決平成 16 年 4 月 9 日**

**ジャーナリスト対2ちゃんねる・発信者情報開示仮処分事件**

発信者情報開示を仮処分により命じた事例。

**【38】 東京地判平成 16 年 4 月 14 日**

**GLA対調布ケーブル・発信者情報開示請求事件**

宗教法人をカルトと指摘する掲示板書き込みが多数あった事件で、発信者の氏名住所開示を命じた事例。

**【39】 大阪地判平成 16 年 4 月 22 日**

**歯科医法人対2ちゃんねるプライバシー侵害・発信者情報開示・損害賠償請求事件**

事務長の学歴や私生活のほか、歯科医院について「いいかげんな治療をする先生ばかり集めて稼がせている」などとする書き込みが2ちゃんねる上の掲示板に相次いだ事例において、計 200 万円の損害賠償支払と書き込みの削除、発信者の情報開示を命じた。

**【40】 東京地判平成 16 年 5 月 7 日**

**ジャーナリスト対2ちゃんねる発信者情報開示請求本訴事件**

ジャーナリストの寺沢有氏や山岡俊介氏らが武富士疑惑について雑誌に記事を書いたところ、中傷する発言が2ちゃんねる上に相次いで書き込まれたという事例で、中傷発言を書いた発信者のIPアドレスと発信日時の開示を命じた。

**【37】** は関連事件

**【41】 東京地判平成 16 年 5 月 11 日**

**フジオーネテクノ対2ちゃんねる発信者情報開示請求事件**

2ちゃんねる上の書き込みについて「脱税をしている会社との印象を与える書き込みで、社会的評価を低下させた」との認定の下で、発信者のIPアドレスの開示を命じた。

**【42】 東京高判平成 16 年 5 月 26 日判タ 1152 号 131 頁**

**ソネットWinMX 発信者情報開示事件控訴審**

原判決：**【34】** 東京地判平成 16 年 1 月 14 日判タ 1152 号 134 頁

**【43】 東京地決平成 16 年 8 月 27 日**

**ジャーナリスト対2ちゃんねる間接強制決定**

【40】を基本事件とする開示請求の債務名義について、間接強制を3万5000円を支払うよう命じる決定。

【44】東京地判平成16年10月27日

スーフリ疑惑2ちゃんねる発信者情報開示請求事件

2ちゃんねるに、集団婦女暴行事件で摘発された大学生サークル「スーパーフリー」のメンバーだったと書き込みをされた男性が発信者の住所、氏名の開示を求めた訴訟で請求認容。(注：記事に住所氏名の開示を求めたとあるが、誤解か?)

(ドメイン名紛争)

【45】大阪地判平成16年2月19日

jiiyuken.co.jp ドメイン使用差止事件

ドメイン名「jiiyuken.co.jp」の使用差止請求等が認容された事案。

【46】大阪地判平成16年7月15日

maxellgrp.com ドメイン名不正競争損害賠償事件

原告の商品表示とよく似た営業表示とドメイン名を被告が使用していることから、不正競争防止法2条1項2号ないし1号及び12号の不正競争行為に該当するとして、損害賠償を請求した事案で、請求を一部認容。

(その他)

【47】東京地判平成16年9月17日

天声人語ネット盗用疑惑名誉毀損事件

週刊新潮が天声人語2本について「インターネットから『盗用』していた朝日の看板コラム」と題する記事を掲載したことについて、朝日新聞社から名誉毀損訴訟が提起された。裁判所は「書店に行くとなぜトイレに行きたくなるか」との記事について「インターネット上で公表された別の作家のコラムと文章構成、展開、筆者の意見などが全く同一」と指摘して盗用の事実を信じる相当の理由があるとしたが、他のコラムについては真実性・相当性とも否定した。

<公法>

【48】大阪地判平成16年2月27日判時1857号92頁

住基ネット国賠請求事件

住民基本台帳ネットワークシステムにより人格権等が侵害され、精神的損害を被ったと主張して国家賠償を求めたが、棄却された事例。

【49】富山地判平成16年6月30日

富山住基ネットプライバシー侵害取消訴訟



住民基本台帳コード11桁の番号を付与した行為は、憲法13条で保障されている原告らのプライバシー権を侵害する違法な行政処分であると主張して取消しを求めた事案で、本件行為は行政処分でないため不適法却下。

【50】東京高判平成16年7月21日

海老名市長選電子投票無効請求事件

「投票者数の改ざんなど作為や過失があった」として、市民2人が選挙無効を求めた訴訟の判決で、「無効の原因となる違反事実は認められない」として、請求を棄却

## 判決年月日順一覧

【34】東京地判平成16年1月14日判タ1152号134頁

ソネットWinMX発信者情報開示事件第1審

【35】東京高判平成16年1月29日

羽田タートル代理人対2ちゃんねる・発信者情報開示請求事件控訴審

【21】大阪地判平成16年2月12日 誕生花著作権侵害事件

【4】東京地判平成16年2月17日 ネット利用保険金詐欺未遂刑事事件

【45】大阪地判平成16年2月19日 jiyuukn.co.jpドメイン使用差止事件

【18】東京地判平成16年2月19日 キャバクラ弁護士名誉毀損事件

【48】大阪地判平成16年2月27日判時1857号92頁 住基ネット国賠請求事件

【13】京都地判平成16年3月5日 Winny利用ゲームソフト著作権侵害刑事事件

【16】福岡地判平成16年3月9日 出会い系サイト悪用・児童買春刑事事件

【29】東京地判平成16年3月11日

「罪に濡れたふたり」著作権侵害事件（2ちゃんねる賠償棄却例）

【36】東京地判平成16年3月12日

WinMXプライバシー侵害・発信者情報開示請求事件

【22】東京地判平成16年3月24日判時1857号108頁

ライトピックス新聞見出し著作権侵害事件（著作権侵害否定例）

【23】名古屋高判平成16年3月25日 歯科医処分HP掲載国賠事件控訴審

【30】東京地判平成16年3月26日

会社員対2ちゃんねる・削除及び損害賠償請求事件

【14】松山地判平成16年3月26日 テレビ番組無断ネット配信刑事事件

【37】東京地決平成16年4月9日

ジャーナリスト対2ちゃんねる・発信者情報開示仮処分事件

【38】東京地判平成16年4月14日

GLA対調布ケーブル・発信者情報開示請求事件

【26】大阪地判平成16年4月20日 Career-Japan 商標権侵害事件

【1】大阪高判平成16年4月22日 交通加害者による名誉毀損刑事事件控訴審

- 【39】大阪地判平成 16 年 4 月 22 日  
歯科医法人対 2ちゃんねるプライバシー侵害・発信者情報開示・損害賠償請求事件
- 【40】東京地判平成 16 年 5 月 7 日  
ジャーナリスト対 2ちゃんねる発信者情報開示請求本訴事件
- 【41】東京地判平成 16 年 5 月 11 日  
フジオーネテクノ対 2ちゃんねる発信者情報開示請求事件
- 【31】東京地判平成 16 年 5 月 18 日  
予備校対 MILKCAFE 削除・損害賠償請求事件（損害否定、削除肯定例）
- 【27】東京地判平成 16 年 5 月 24 日 セコムステッカー・ヤフオク事件
- 【42】東京高判平成 16 年 5 月 26 日判タ 1152 号 131 頁  
ソネット WinMX 発信者情報開示事件控訴審、控訴棄却
- 【28】東京地判平成 16 年 5 月 28 日 キタムラ対北村商標侵害事件（否定例）
- 【19】東京地判平成 16 年 5 月 31 日 アートネーチャー批判事件
- 【24】東京地判平成 16 年 6 月 11 日 デンバー総領事写真無断放送事件
- 【32】東京地判平成 16 年 6 月 16 日  
ダイビングショップ対 2ちゃんねる損害賠償請求事件
- 【49】富山地判平成 16 年 6 月 30 日 富山住基ネットプライバシー侵害取消訴訟
- 【17】那覇地判平成 16 年 7 月 8 日 米軍少佐強制わいせつ未遂刑事事件
- 【33】東京地判平成 16 年 7 月 9 日 エイジアン対 2ちゃんねる削除請求事件
- 【46】大阪地判平成 16 年 7 月 15 日 maxellgrp.com ドメイン名不正競争損害賠償事件
- 【50】東京高判平成 16 年 7 月 21 日 海老名市長選電子投票無効請求事件
- 【8】鳥取地判平成 16 年 8 月 3 日 元小学校職員ネットオークション詐欺刑事事件
- 【16】横浜地判平成 16 年 8 月 16 日 映画監督買春・強姦刑事事件
- 【43】東京地決平成 16 年 8 月 27 日 ジャーナリスト対 2ちゃんねる間接強制決定
- 【9】水戸地判平成 16 年 9 月 2 日 著作権侵害・オークション詐欺刑事事件
- 【14】徳島地判平成 16 年 9 月 3 日 Atok 無断公衆送信刑事事件
- 【47】東京地判平成 16 年 9 月 17 日 天声人語ネット盗用疑惑名誉毀損事件
- 【10】大阪地判平成 16 年 10 月 1 日 偽森伊蔵オークション刑事事件 1
- 【12】東京地判平成 16 年 10 月 5 日 ヤフーBB恐喝未遂刑事事件
- 【25】東京地決平成 16 年 10 月 7 日 録画ネット仮処分事件
- 【11】大阪地判平成 16 年 10 月 8 日 偽森伊蔵オークション詐欺刑事事件 2
- 【6】福岡地判平成 16 年 10 月 22 日 警官脅迫メール刑事事件
- 【7】大阪地判平成 16 年 10 月 26 日 2ちゃんねる小学校脅迫刑事事件
- 【5】天津地判平成 16 年 10 月 26 日 ネット知人妻殺害依頼刑事事件
- 【44】東京地判平成 16 年 10 月 27 日  
スーフリ疑惑 2ちゃんねる発信者情報開示請求事件
- 【3】広島地判平成 16 年 10 月 28 日 オレオレ詐欺ネット架空請求刑事事件
- 【2】東京地判平成 16 年 11 月 17 日 武富士元会長盗聴・名誉毀損刑事事件